

# 船が育んだ江戸

～百万都市・江戸を築いた水運～

(2) 川 —河川・運河・河岸—

2018年

11月22日(木)

2019年

2月16日(土)

会場 東京海洋大学  
越中島キャンパス  
明治丸記念館

開館日時 毎週火・木曜日、  
第1及び第3土曜日

10:00～15:00(入館は14:30まで)

※ 2019年1月19日休館、1月26日開館

無料一般公開



「中川口」(江東区中川船番所資料館蔵)

主催:東京海洋大学附属図書館

共催:東京海洋大学明治丸海事ミュージアム

後援:(一財)山縣記念財団

協力:(株)オフィス・キヨモリ、柏書房(株)、関西学院  
大学図書館、(株)建設技術研究所国土文化研究所、  
(株)講談社、江東区中川船番所資料館、江東区深  
川江戸資料館、国土交通省中部地方整備局天竜川  
上流河川事務所、国文学研究資料館、国立公文書館、  
国立国会図書館、小寺裕、千葉県立関宿城博物館、  
千葉県立中央博物館、千葉県立房総のむら、中央区  
立京橋図書館、東京大学附属図書館、(一社)東京都  
港湾振興協会、船橋市西図書館、船の科学館(五十音順)

## ◆お問い合わせ

東京海洋大学附属図書館 情報サービス第二係

〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6

電話: 03-5245-7362 FAX: 03-5245-7334

Email: jo-joho2@o.kaiyodai.ac.jp

図書館HP: <http://lib.s.kaiyodai.ac.jp/>

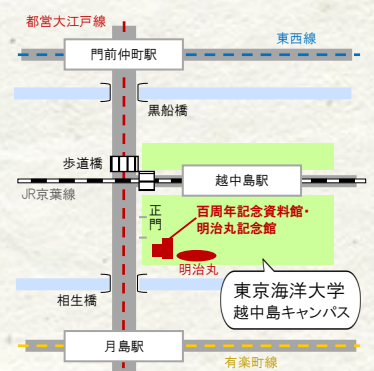
## ◆交通案内

・JR京葉線/武蔵野線越中島駅 徒歩2分

・地下鉄東西線/大江戸線門前仲町駅 徒歩10分

・地下鉄有楽町線/大江戸線月島駅 徒歩10分

百周年記念資料館より明治丸記念館にお入りください



# 企画展示「船が育んだ江戸」 (2) 川 —河川・運河・河岸—

## ■ 関東地域の河川：利根川水系の地誌、利根川東遷



### 利根川図志

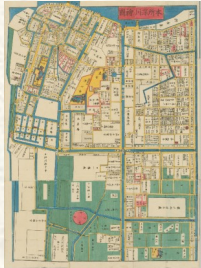
赤松宗旦著 安政2年(1855)  
(東京海洋大学附属図書館所蔵)  
江戸末期に作成された図誌であり、各地の名所旧跡や風習を紹介している。対象地域は、利根川の中流域から河口までであり、現在の茨城県古河市付近から千葉県銚子市までに相当する。



### 訂正関八州全図 (複製)

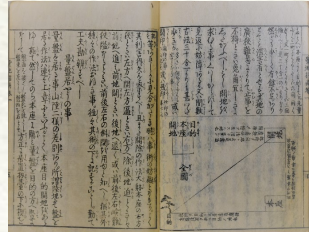
鈴亭谷峯著 安政3年(1856)  
(千葉県立関宿城博物館所蔵)  
江戸を中心とした関東地方の各地への行程を、河川と道路で示した「路程図」である。上部の東方向に利根川が流れ、右方向の江戸湾に江戸川や隅田川が注いでいる。現在の道路地図と違って、河川と街道の記されていることは、河川交通が重要であったことを示している。なお、江戸川と記された横には、「関宿迄川路十五里」と添え書きされている。

## ■ 江戸の運河：埋め立て、開削



### 江戸切繪圖本所深川繪圖

戸松昌訓図 文久2年(1862)  
(東京海洋大学附属図書館所蔵)  
武家の屋敷と神社仏閣を中心に、町家、川・堀・海、山林・原・土手などを色分けした絵図である。特に武家屋敷(上・中・下屋敷)や辻番所など記号であらわしている。また、郊外や著名な料理屋、蕎麦屋なども載せている。



### 量地指南 村井昌弘編述

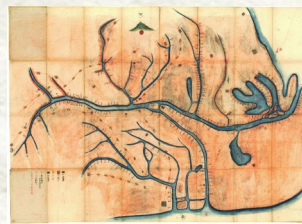
享保18年(1733) - 寛政6年(1794)  
(東京海洋大学附属図書館所蔵)  
土地を量るといって「量地」であり、この指導書ということで「指南」だと思われる。江戸中期に村井昌弘によって著された測量術書である。量盤(けんばん)と呼ぶ平らな板を用いた測量術であるが、現在の平板測量に対応している。

## ■ 江戸の河岸：魚河岸、野菜河岸、材木河岸など



### 繪本江戸土産 10巻

歌川廣重画  
嘉永3年(1850)叙-慶應3年(1867)序  
(東京海洋大学附属図書館所蔵)  
江戸市中及び近郊の景観を描いた淡い色刷りの地誌絵本である。それぞれに簡単な解説を記している。1-6編は初代広重の作品、7編は初代か二代か不明、8-10編は二代の作品とされている。



### 奥川筋海路図 (複製)

江戸時代後期  
(江東区中川船番所資料館所蔵)  
本図は、関東地方の水系を図に示したもので、船による航行や物資輸送に役立つようになっている。本図の起点は江戸であり、東は銚子、北は宇都宮、西は高崎付近までの北関東一円を描いている。地図内には、川に面した河岸の名前が記され、重要な箇所には記号が記されている。

## 講演会「船が育んだ江戸」 (2) 川 —河川・運河・河岸—

事前申込  
不要

日時 2018年12月1日(土) 13:30~17:00

会場 東京海洋大学越中島会館 2階講堂

企画展示「船が育んだ江戸」では、水運の視点から百万都市江戸の誕生と成長の姿を追いかけていますが、第2回目となる本年のテーマは「川」です。講演会では、都市の発展という視点から「世界の都市と河川の役割」、江戸については洪水対策と物資流通を兼ねながら豊かさをもたらした「利根川東遷」、小名木川に代表される物資輸送のための「運河や水路の開削」、物資の揚げ場であるとともに盛り場の原型でもあった「河岸」について、4人の方に講演していただきます。

### プログラム

司会：岩坂直人(東京海洋大学教授)

- 13:00 開場
- 13:30 開会挨拶：塚本達郎(東京海洋大学附属図書館越中島分館長)
- 13:35 講演Ⅰ「都市における河川の役割と物流」  
苦瀬博仁(東京海洋大学名誉教授、流通経済大学教授)
- 14:20 講演Ⅱ「関東地方の河川と江戸・東京」  
木村達司((株)建設技術研究所国土文化研究所)
- 15:05 休憩
- 15:20 講演Ⅲ「江戸の運河と物資流通」  
久染健夫(江東区中川船番所資料館)
- 16:05 講演Ⅳ「江戸の河岸と、魚河岸の変遷」  
森本博行((株)オフィス・キヨモリ代表、元築地市場場長)
- 16:50 閉会挨拶：稲石正明(東京海洋大学ミュージアム機構長)
- 17:00 閉会

(講演内容は、変更することがあります)

### アクセス

正門から…明治丸のある広場へ向かい、そのまま道なりにまっすぐ進みます。小さなドームと赤い屋根が目印です。

裏門から…入って正面にあります。

